

科目名	トラベルコーディネート		担当者名	松藤 諭(マツフジサトル)	
開講年次	1	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	選択	単位数	2
ナンバリング	D2050	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	<p>本講座は旅行業の資格である「旅程管理主任」資格を取得するための講座として開講します。「旅程管理主任」とは旅行に同行する添乗員になるために必要な資格です。「旅程管理主任」の資格が無いと旅行でツアーコンダクター(添乗員)をすることができません。旅程管理業務に関する研修(講義)や確認テストを含めた15回の講義と資格試験、添乗実務研修を終了したものに「旅程管理主任(国内)」がとれます。また、講義の中では日本国内の観光地などの観光に関する講義もおこないます。旅行業界を志さない者にも、トラベルコーディネートとしての個人旅行における必要な情報を取得できます。</p> <p>* 旅程管理主任資格の取得には、研修旅行(日帰り)が必須であるが、単位取得は確認テストまでとする</p> <p>* テキストの購入は必須です。法律(約款)を勉強します。旅行業法、約款、取引条件書などの漢字が読める必要があります。</p>				
到達目標	<p>1. 「旅程管理主任」資格が取得できる。</p> <p>2. 旅行業法や旅行業約款に詳しくなれる。</p> <p>3. 海外向け「旅程管理主任」資格取得に向けた必須前提ができる。</p>				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	旅行業界・旅程管理・添乗員・添乗業務について		成績評価の確認 オリエンテーション	0分
	2	添乗員と添乗業務の基本 ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	3	旅行業法と旅行約款について ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	4	添乗業務の実務(国内添乗業務の流れ) ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	5	旅程管理業務(募集型企画旅行)について ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	6	添乗業務の実務(バス利用時の添乗) ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	7	旅程管理業務(受注型企画旅行)について ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	8	1回～7回	確認試験	1回～7回の授業内容の復習	90分
	9	添乗業務の実務(航空利用時の添乗) ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	10	旅行業約款(募集型企画旅行)		授業後の復習	30分
	11	添乗業務の実務(JR利用時の添乗) ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	12	旅行業約款(受注型企画旅行) ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	13	添乗業務の実務(船舶利用時の添乗) ・事故、トラブル発生時の対応 ・国内地理		授業後の復習	30分
	14	添乗業務における旅程管理 ・国内地理/観光地について		授業後の復習	30分
	15	9回～15回	確認テスト	授業内容の総復習	90分
教科書	<p>「旅程管理研修教本」 社団法人 日本添乗サービス協会 発行</p> <p>「旅程管理業務に関する旅行業法・標準旅行業約款」 社団法人 日本旅行業協会 発行</p>				
参考書	自ら興味をもって、旅行関係の書籍、情報、国内地理、国内観光に触れるようにして下さい				
成績評価	方法		割合	備考	
	受講態度		30%	授業中の発表、講義に対する姿勢。	
	確認試験・レポート		30%	記述、語群選択方式。採点して返却します。	
	期末試験		40%	記述、語群選択方式。試験は返却しません。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を目標として講義をしているので、他人に迷惑をかける行為の私語、携帯電話の使用は厳禁とする。 本講座は「旅程管理主任資格」取得のための講座として位置づけ、講義・確認テストまで含め全15回の講義に出席し、観光庁長官の登録を受けた者が実施する旅程管理業務に関する研修の課程を終了したこととする。(ただし本試験、旅程管理業務に従事した経験は未実施である) 本試験の検定料は、11,000円。本試験を受講する人は、受講時に検定料を徴収する。 レポート、期末テストの試験問題、答案用紙は返却しません。 留学生は日本語検定2級程度の実力を有している人。 				
実務経験との関連	旅行会社で15年以上の実務経験があり、その後も添乗員として、現在も添乗業務をおこなっています。				
オフィスアワー	授業時間の前後15分		メールアドレス	orioaishin.tc002@gmail.com	